

長崎県看護協会 会報

発行所 公益社団法人 長崎県看護協会
〒854-0072 長崎県諫早市永昌町23番6号
TEL(0957)49-8050(代) FAX(0957)49-8056
発行責任者 西村伊知恵
印刷 株式会社インテックス



85
令和4年1月



Nagasaki Nursing Association

- | | |
|---|--|
| 令和4年 年頭のごあいさつ ————— 2
看護協会 会長/副会長/専務理事 | 2022年 今年の抱負インタビュー ——— 7
～年女年男の方々に聞きました～ |
| 長崎県新型コロナワクチン接種センターに — 3～5
派遣された看護師に聞いてみました | 地区支部だより ————— 8～9 |
| 「2021 看護への道フェア」レポート ——— 6 | 病院紹介
長崎県上五島病院附属診療所有川医療センター — 10 |



地域住民へ信頼と思いやりの看護を提供する
～とどけよう、私たちの看護のこころ～

令和四年
寅
迎春

今年もよろしく
お願いいたします

新年あけましておめでとございます。

昨年、新型コロナウイルス感染症対応の二年でした。皆様がたが穏やかな年の初めを迎えられていることを願うばかりです。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。よいことがたくさん年になりますように。

会長 西村 伊知恵

旧年は、新型コロナウイルス感染症予防対策における看護職の活躍で改めて看護が見直され、期待される年でした。

倫理や技術の向上を常に考え自律した看護職が増えていく事を願うと共に、看護職が働き続けられる環境作りを推進していきたく考えています。

副会長 上田 光子

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員等の皆さまに必要とされる看護協会であり続けるために、様々な状況や環境下にある皆さまが学び合う場を提供し、より一層、継続教育が充実できるよう努めてまいりたいと思っております。ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

副会長 木下 日出美

新年明けましておめでとございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により、保健・医療・福祉に従事する看護職の私達にとって、一昨年から続く激動の年でした。

今年こそ、会員の皆様と一緒の学び、語り合い、働きやすい環境づくりを目指す看護協会として充実した年になればと思います。

皆さまのご協力よろしくお願い致します。
本年もよろしくお願い致します。

副会長 日野出 悦子

新年あけましておめでとございます。

2022年の干支は壬寅（みずのえ・とら）冬が厳しい程春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年だと言われています。新型コロナウイルス感染症により厳しい日々を送ってきました。

きつと春の芽吹きも勢いよく、華々しく生まれることを信じています。
本年もよろしくお願い致します。

専務理事 新川 哲子

長崎県新型コロナウイルスワクチン接種センターに派遣された看護師にきいてみました。



長崎県看護協会は、長崎県と諫早市から大規模接種会場におけるワクチン接種業務に係る看護師確保の業務委託を受けました。ナースセンターが求人求職者の対応を行い、看護協会が延べ231名（長崎県182名、諫早市49名）の看護職を雇用いたしました。安全に業務を遂行することを重視し体制を整備し、長崎会場と県北会場、諫早会場に看護職を派遣しています。そこで、今回長崎会場と佐世保会場で従事している看護師の声と共にその様子を紹介します。

看護師の声

長崎県庁



看護師の仕事(約25年間)を退職して1年あまり、コロナワクチンの接種の仕事があると聞き、応募させていただきました。
始めて、新しくなった県庁に入らせてもらいました。
コロナワクチン接種業務スタッフとの会話や、接種しにきた人達のふれあい、私にとってとても有意義な日々でした。

私は離職してから数年たっており、久しぶりの仕事でとても緊張していました。しかし、看護協会の方を中心に毎日看護師のリーダーさんがいてくれたため、気になることはすぐに相談できて安心して働くことができました。その他、県庁のスタッフ、事務の方々の存在もとても心強かったです。
コロナで世界中が大変な状況の中、微力ながらコロナ収束に向けてお手伝いができていたら幸いです。一日でも早いコロナの収束を祈るばかりです。

新型コロナウイルスが確認され、まもなく2年になります。
ワクチンが急ピッチで開発され、今回接種業務に携わりました。
短期間に国民の大半が接種を受け、ようやく感染拡大も落ち着いてきました。集団接種は短期間で多くの方に関わる為、感染リスクや針刺し事故等も起こりやすいと思われましたが慌てず落ち着いて行動することで、大きな事故や事件を防げました。臨床とは違った形で携わりましたが、社会貢献することができたように思います。

令和2年3月末に15年間勤めていたデイサービスを退職、折しもコロナ禍で利用者の方も減り、スタッフの勤務調整が日々行なわれ、見えない敵と戦う頃でした。

毎日の様にニュースで流れる医療現場の状況に何かお手伝い出来ないかと思っていました。その中、集団接種業務に携わる機会を頂きました。初めて会うスタッフ間で不安もありましたが、協力しスムーズに業務も行う事ができました。

日々、色々な問題点を解決し環境も改善されていった様に感じました。接種に来られた方々の不安を少しでもやわらげられる様傾聴しながら微力ながらやりとげられた事は、今後とも忘れる事はないと思います。

平穏な日常を取り戻す大切さを改めて感じました。

新型コロナウイルス感染が拡大する中、少しでも何かの役に立てればと思い接種センター業務に携わりました。

長年ブランクがあり不安でしたが、事前研修で新型コロナウイルスの知識や接種の手技など確認できました。

現場ではたくさんの方が接種に来られ、中には体調不良になる方もいました。対応に困った時も、看護協会の方々やスタッフの皆さんに支えていただき業務することができました。

この経験を活かし、復職に向けてつなげていきたいと思っています。

接種業務に携わり、約5か月になります。最初のころは、久しぶりの仕事ということで、失敗せずにできると不安を感じていました。おろおろすることもありましたが、終盤になり、やっと余裕が出てきたかなと思っています。

看護師として臨床を離れて10年あまり、こういう形で社会貢献させていただけたことを大変ありがたく感じ、ちょっぴり自己満足に浸っています。

コロナ禍の中、何か役に立ちたい、私にできることはないかと思う中、キャリア支援センターの方から声をかけて頂きました。

研修を受け注射方法、急変時の対応など自己学習を行い業務につきました。

看護師は良い方達で、協力し合いスムーズに業務できました。

医師や他職種の方とも連携でき、学び多い業務でした。

社会貢献でき、看護師としてもう一度頑張りたいと前向きな気持ちになりました。

レオプラザホテル 佐世保



私は8月から接種業務に携わりました。

テレビでは連日感染者数が報道されており、映像では注射針を腕に刺す瞬間の様子が映し出されるのが日常になりました。

どの方も予約が取れた安堵感と副反応への不安と心配を抱えて接種会場に来られており、接種後には泣き出す方もいらっしゃいました。間違った情報も沢山ありました。

私は当初は技術的な事ばかりにとらわれていましたが、携わっていく内に心により添う接種を目指すように心がけました。

不安を取り除き、正しく情報を伝えていく事も接種業務であると学びました。

看護の多面的な実践する力を磨いていこうと思いました。

数年のブランクの中からの業務で不安でしたが、事前研修や研修資料でスムーズに業務に携わる事が出来ました。

また看護リーダーの支援もあり安心して仕事が出来ました。

他の看護師や医師、会場スタッフとの情報交換も楽しく最後まで事故がなく仕事が出来て良かったです。

今回を機に、今後も何らかの形で看護業務に携わって行きたいと思いました。

長崎県にきてから数年間看護職から離れており、復職を考えていましたが、夫が来年度あたりで転勤の可能性があるため迷っていました。またコロナ禍の中、医療職の一員として少しでも社会貢献できないかと考えていた所でもありました。

そんなタイミングでワクチン接種業務の仕事があり、復職への準備期間となり、少しでも力になれたような充実した気持ちで働く事ができました。

多くの出会いもありました。一緒に働いたメンバーは経験も多様であり、刺激にもなり情報交換の場にもなりました。お互いの経験や思いを話す中であらためて看護職の魅力を感じ復職への原動力になりました。

コロナ禍中、日々疲弊していく医療現場を憂っていました。ある日、子どもが「お母さんは看護師さんよね。何もせんでいいと？」と一言。そこで一念発起し、この度のワクチン接種業務に携わらせてもらうことにいたしました。

10年以上離職してしまっていたので不安が大きかったのですが、丁寧な事前研修と共に働くスタッフの方々に助けられ、何とか役割を果たすことができたのではないかと感じています。今は、支えて下さったスタッフの皆様と協力してくれた家族への感謝の気持ちでいっぱいです。

一日でも早く日常生活が落ち着きを取り戻せますように、願いをこめて結びといたします。

「はじめまして」と全く知らない方々とチームを組み、緊急時の対応は大丈夫かと不安なスタートでした。しかし、さすがの医療者！何かあれば団結し、すぐに対応することが出来るのはさすがでした。ベテランの方が多く、色々な情報交換もでき勉強になりました。

仕事内容として観察は立ちっぱなしで大変でしたが、接種者の疑問や質問に対応することができました。

皆さん、不安要素を抱えた方が多く、その分、迷走神経反射症状出現の方も多くいらっしゃいました。こちらから専門的な情報を提供するだけで不安が軽減し、安心して接種されました。私のような最前線で働いてなくてもみなさまのお役に立つことがとても嬉しく自信につながりました。委託業者や県の方々とも協力し合い、問題があれば話し合い、進めていけました。

臨床を離れて6年になります。自分がコロナワクチン接種を受ける際に、元同僚に再会したことが接種業務に関わるきっかけになりました。初回の業務の際は不安もありましたが、一緒に業務に携わる看護師の方々に声を掛けていただくことで、直ぐに不安もなくなりました。また、接種を受ける方の話を傾聴し、声を掛けることで少しでも不安を少なくできるように努めました。連絡ノートの使用や県職員、案内を担当するスタッフとも協力しスムーズに接種業務が行うことが出来ました。全国で感染拡大している中、医療者として力になれたことに感謝しています。

2021 看護への道フェア

参加者
 高校生:64名(16校)
 中学生:6名(4校)
 小学校:1名(1校)
 保護者:15名
 その他:5名
 計91名

看護の魅力発信を目的に中・高校生や保護者、教員への看護情報提供の場として参加型のイベントが「2021 看護の道フェア」として11月28日、ながさき看護センターで開催されました。小学生の参加もありました。

「看護職を目指したいと思った」「看護職を選択肢の一つとして考えた」と思っている参加者が大多数でした。

手洗い体験



高齢者体験



訪問看護紹介



災害看護体験



救急看護体験



91人の参加でしたが、どのブースでもとても盛り上がり上がっていました。特に白衣体験では楽しそうな声が聞こえていました

災害看護体験



救急看護体験



「新人看護師の意見を聞いて良かった」「看護師を目指す学生さんの表情が素敵でうれしかった」などの参加者の声が聞かれました。

看護師とのふれあいコーナー



新人看護師とのふれあいコーナー



白衣試着体験



看護への道フェアと同時開催されました

第25回 国際助産師の日

日時 2021年11月28日(日) 13:00~16:00

場所 ながさき看護センター 諫早市永昌町23-6

- 命の誕生ビデオ映写会
- 性教育セミナー風景 (パネル展示)
- 胎児人形展示
- 妊産婦相談コーナー
- 助産師の活動紹介



2022年

今年の抱負 インタビュー



寅年生まれの皆様は
ご協力いただき、
2022年の抱負を
掲載しました!!



看護師4年目となります。昨年はプリセプターの役割をいただき、後輩に教えることで自己の知識と技術を向上させることができました。今年は1人1人の患者さんと関わる時間を増やせるように工夫していきたいです。



長崎県島原病院
柴田 真夜



佐世保共済病院
原口 彬

昨年はICUから一般病棟へ異動となり、患者・家族の意思を尊重しながら多職種と連携し退院支援を実践することの大切さを学ばせて頂きました。今年はICUで学んだ知識・技術を病棟へ還元できるよう部署教育にトライ!していきたいと思います!寅年だけに…



重工記念長崎病院
佐藤 亜希子

当院は令和2年5月、新病院に移転しました。看護体制の変更もあり業務改善に取り組んでいます。今年はより多くのスタッフの声を聞き、その声を活かした“楽しく働きやすい職場づくり”を目指して更なる努力をしていきたいと思っています。

2022年も、コロナ禍の中、ワクチン接種が必要になっています。体調管理に心がけ、心も体も無理をしない。1年の計画を立てて計画が滞りなく達成できるようにしたいです。



平戸市立生月病院
山西 由美

昨年第一子を出産し10月から復職しました。家族や周囲の方々のサポートに感謝しつつ、仕事と子育ての両立を頑張っていきたいと思います。そして今年こそは家族3人での旅行にも行きたいです。



西諫早病院
池田 桃花



長崎県上五島病院
山野 則子

本年度は、新型コロナウイルスの影響で出来なかった認定看護師の活動を見直し、新しい観点から活動の幅を広げていきたいと考えています。一人でも多くの摂食嚥下障害をもつ患者様に寄り添い支援をしていきたいです。



光晴会病院
黒澤 克樹

手術室勤務になり最初は手術の手順や物品など覚えられないか不安でした。しかし、約1年が経過し、先輩方の指導もあり手術の手順を覚えることが出来ました。今後は患者に寄り添う看護ができるよう、病気の知識や声掛けについて学んでいきたいです。

コロナ禍で大変な時ではありますが、患者さんが安心して病院受診できるよう感染対策を徹底し笑顔で業務に従事していきたいです。また、今年は病気や怪我をしないで1年健康で元気に過ごしたいです。



国民健康保険平戸市民病院
小楠 一美

昨年はコロナ禍で看護を行うにあたり、改めて命の尊さや人を思いやる事の大切さを考えるきっかけになりました。また、協力し合いながら一致団結した1年になったと思います。虎には決断力や周りを見渡す力があると言われてます。今年は何事にも恐れずに勇猛果敢にトライする1年にしたいです。自分なりに創意工夫を試みながら仕事にチャレンジする気持ちを持ち続けていきたいです。



大村市民病院
生島 野乃花、吉富 千尋

地区支部だより



各支部の活動やお知らせをお届けします。



県南支部

支部長 増田 千代子

新年あけましておめでとうございます。

2022年の年明けを皆様どのように過ごされたでしょうか？

不安定な世の中ですが、今年は明るい未来が待っていると願うばかりです。

県南支部では11月4日に2年目看護職員研修を開催いたしました。テーマは「看護過程の実践活用」として、長崎大学院医薬学総合研究科 黒田裕美先生にご講義いただきました。27名の参加者からは、「他病院で働く同じ2年目看護師の考えを聞くことができ良い学びだった」「看護とは何か、看護過程とは何かを再学習できた」等の感想がありました。久々の対面での開催ということもあり、より貴重な時間を共有することができたのではないかと思います。日頃より支部事業へのご協力とご理解、感謝申し上げます。

本年もよろしくお願いたします。



グループワークの様子



黒田裕美先生



県央支部

支部長 中尾 理恵子

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症により支部活動が思うようにできない中、重点事項2.3継続教育と働き続けられる環境作りの一環として、10月に2年目看護師交流会、11月に県看護協会主催の看護職連携構築ネットワーク会議、12月に支部看護研修会、テーマ「県央支部における新型コロナウイルス感染症に対する各職場の対応と課題」をながさき看護センターで実施しました。また、「まちの保健室」を大村・東杵地区はミライON県立図書館、諫早地区は西諫早公民館、諫早図書館にて再開することが出来ました。徐々に元の活動に戻していきたいと思っております。1月はリスクマネージャ交流会、3月は支部の看護研究発表会を予定しております。年間計画に沿って事業を展開していきますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い致します。



2年目看護師交流会(10/30)



ミライON県立図書館



県北支部

支部長 山崎 純子

全国的にも新型コロナウイルス感染者が減少傾向となり、会員の皆様におかれましてはつかの間の休息をお過ごしではないかと思います。感染の拡大状況により研修を開催する会場の使用制限を想定し、県北支部では事務所内からオンライン(ZOOM)研修が開催できるように環境を整えました。ITの活用が苦手な看護職ですが、8月:2年目職員研修会、9月:ストレスケア研修会、フィジカルアセスメント(呼吸)研修会、11月:ターミナルケア研修会をオンライン開催することができ参加者からは好評を頂いています。10月には久しぶりに集合して施設職員交流会を開催し、コロナ禍における訪問看護の現状について情報共有でき学ぶことができました。オンライン研修に慣れつつも、改めて集合研修の良さを実感することができました。





下五島支部

支部長 眞弓 陽子

新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、看護の日のイベントやまちの保健室等の活動が中止となりました。また、支部として例年サポートさせていただいていた、パラモンキングや夕焼けマラソン等の行事も中止となり、大変残念な状況となりました。2020年、2021年と2年続けて中止となっております五島長崎国際トライアスロン大会ですが、2022年6月26日(日)に開催予定となっております。感染対策を講じながら、地域振興と経済回復を図るため、下五島支部としても開催に向けてサポートさせていただき予定です。コロナウイルスの感染が再拡大することなく、無事に開催できることを願うばかりです。

今年は、少しずつ活動の場が広がっていくことを願いながら、看護の日イベントに向けても準備を進めていきたいと思います。コロナワクチンの接種が進み、今年はどのような1年になるのでしょうか。今年も感染状況をみながら事業推進してまいります。



上五島支部

支部長 頭島 利江子

新年 明けましておめでとうございます。

支部活動が思うようにできなかった令和3年でした。(すべてコロナのせいではないのですが...) 今年、すこずつ活動の場を取り戻して、活気あふれる上五島支部を目指していきたいと思います。

研修会

令和3年12月10日 地域包括ケアシステム研修会

「アドバンス・ケア・プランニングを考える」

令和4年1月15日 離島就業看護職員研修会 予定

「緩和ケアにおける終末期のあり方～コロナ禍の緩和ケアを考える～」

写真は令和3年8月17日 上五島に 大きな2重の虹(ダブルレインボー)が架かりました。

虹は、幸運の前兆と言われています。それが2重の虹だと、さらに幸せになりそうです。そう思いながら8月のダブルレインボーを眺めていました。

令和4年が、皆さまにとって幸多き一年となりますように。



壱岐支部

支部長 鋸崎 くみ子

新年あけましておめでとうございます。壱岐支部でも、新型コロナウイルス感染症により、ここ2年間は、十分な支部活動が出来ていません。今年こそはコロナが終息し、活気的な活動が出来る年になりますように。

●支部活動報告

感染状況を見ながら、10月21日(木)に小規模ですが、「ACPを考えよう」の研修会を行い、看護師、保健師、ケアマネージャー等34名の参加がありました。宮下先生の講義に引き込まれ、誰に対して、誰が、いつ行うのか、ICの意味とは等、考えさせられ有意義な研修となりました。壱岐だからこそ、病院・施設・行政との連携を密にとり、島で暮らす人々が望まれる終末期の迎え方を情報共有できればいいなと思いました。



対馬支部

支部長 山田 久美子

令和3年11月13日(土)離島就業看護職員研修会(オンライン研修)を開催しました。

佐世保市総合医療センター緩和ケア認定看護師の濱口幸人先生に、「進行・再発がん患者の意思決定支援とACP」をテーマにご講義いただきました。参加者は22名でした。

再発・進行がんの患者や家族が、どのように最期を迎えたいか、意思決定への支援を行い、それを実行するために、チーム(本人・家族、医師、看護師、MSW、薬剤師、PT、ケアマネなど)で取り組むことの重要性を学びました。先生の病院では、地域住民も巻き込んだ、地道な体制作りもなされておられ、すばらしいと思いました。参加した訪問看護センターの看護師からは、治療方針に関して医師との関係性など倫理的問題について質問があり、とても参考になりました。



病院 紹介

長崎県上五島病院附属診療所 有川医療センター



長崎県上五島病院附属診療所有川医療センターは、五島列島北部の中通島東部に位置する場所にあります。平成21年11月新上五島町医療体制再編計画により、上五島病院を基幹病院とした無床診療所になり、主に外来診療と透析治療を行っています。

外来部門は地域医療の充実を図るため、外来診療以外に4カ所の町立へき地診療所へ出張診療も行っています。透析部門は島内の慢性期の外来透析治療と、旅行などで上五島へ来られた方の臨時透析を行っていましたがCOVID-19の中、旅行透析の受け入れを中止しています。島内の患者は高

齢な方が多い中、元気で過ごせるように生活に寄り添ったケアができるよう取り組んでいます。

職員34名と少数ですが、『地域住民へ信頼と思いやりの看護を提供する〜とどけよう、私たちの看護のこころ〜』を看護理念に、職員一同、上五島地域の医療のために頑張ります。

ビニールカーテン



外来スタッフ



外来話し合い



透析室スタッフ



透析室



業務風景



職員手づくり



へき地診療

